



# 天領病院だより



## 医療理念

- 一、患者中心の医療
- 二、医療の質の向上
- 三、地域社会にあった手づくりの医療
- 四、安心と信頼を持たれる病院づくり

## 基本方針

- 一、地域の病院及び診療所と連携し、急性期医療を担当する中核病院として地域の医療に貢献する。
- 二、患者様にくつろぎを与える快適な医療環境を提供する。
- 三、医療水準向上のため教育および臨床研修に努める。

## 第4回社会保険大牟田天領病院院内学術集会開催

11月19日(土) 当院福祉センターにて第4回院内学術集会が開催されました。

一般演題発表の部では、各科各部門から、症例発表、業務改善に関するもの等々、テーマも多岐に渡った17題が発表され、参加者の活発な質疑応答もあって、大変充実した内容となりました。

それでは、一般演題の中から当院吉田耕治婦人科部長による症例報告を以下に掲載致します。

### 比較的に稀な子宮筋層内妊娠の3例について

吉田耕治、桑崎 雅\*：社会保険大牟田天領病院婦人科 (\*は非常勤医師)  
村上信子：前産業医科大学産婦人科専修医

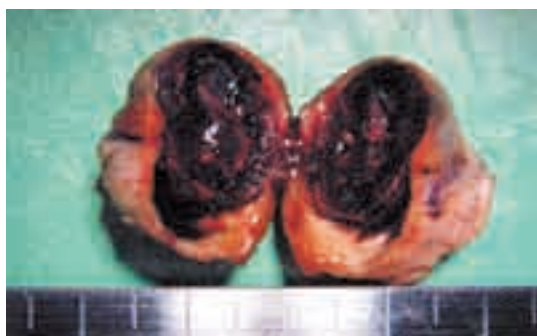
#### 「はじめに」

子宮外(異所性着床)妊娠の1%弱に子宮筋層内妊娠があると言われていたが<sup>1)</sup>文献的な報告は世界的に見ても数十例に過ぎない。今回、我々は、この稀な子宮筋層内着床妊娠を3例経験したので報告する。稀とは言っても子宮外妊娠の1%弱にみられ、妊娠早期に発見しないと妊娠中期以降は子宮破裂により大出血を起こす恐れもある。本疾患が子宮外妊娠の一部として存在するという認識は婦人科急性腹症の診療上も必要である。

#### 「症例報告」

##### 第一例

25歳の子宮腺筋症を合併した挙児希望婦人。最近、別の施設で妊娠後、稽留流産の診断下にD&C(子宮内容除去術)を2回受けた。が尿hCGレベルが低下しないので紹介されて受診。計算上は妊娠17週であったが画像診断で子宮前壁～子宮体部上方に直径数cmの胎嚢を認め、周囲は完全に子宮平滑筋で囲繞(イニョウ)されていた。開腹して胎嚢を摘出(図1)、筋層を縫縮した。その後、再度妊娠したが妊娠初期流産した。



(図1) 第一例の摘出胎嚢、周囲は完全に子宮平滑筋で囲繞されている。

第二例

35歳の挙児希望婦人。1年ほど前に他医で子宮筋腫核出術を受けたあと妊娠。その6週後、下腹部激痛で他医から子宮外妊娠疑いで紹介され受診した。開腹したところ約1年前の子宮筋腫核出術瘢痕の漿膜側に突出した胎嚢が認められた。

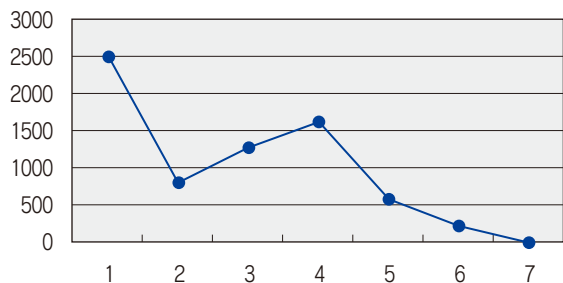
第三例2)

患者は40歳の女性。1年前に前置胎盤で帝王切開を受けたあとの妊娠。妊娠6週ころに人工妊娠中絶目的で近医を受診し、超音波診断で胎嚢が子宮前壁にあり子宮筋で周りが囲繞されているので頸管妊娠の疑いで紹介され受診した。開腹すると、前回の帝王切開瘢痕部を経由した子宮筋層内妊娠と判明した。

【考案】

1987年3月26日～2005年4月5日までの約18年間に北九州の産業医大病院で経験された子宮外妊娠の手術例は総計166例(18歳～47歳)で、そのうちの子宮筋層内妊娠は今回報告の3例(1.8%)であった。子宮外妊娠例の年齢構成は10代が6人(3.6%)、20代が79人(47.6%)、30代が71人(42.8%)、40代が10人(6.0%)で20代が最も多かった。今回の患者も20代、30代の2人であるが、第三例は40歳と高齢であった。子宮外妊娠中の子宮筋層内妊娠の率が一般に言われている1%弱という頻度<sup>1)</sup>より高かった。これは3例中2例が、帝王切開と子宮筋腫核出術という手術瘢痕部着床で、大学病院は手術例や紹介例が多いためこのような比率となったものと思われる。

開腹手術歴のない第一症例は、妊娠初期に2回D&Cを受けており、その際に胎嚢が剥離されたが子宮外に除去されずに残って、D&Cで出来た瘢痕から、子宮腺筋症組織を経由して子宮筋層に着床したものと思われた。下のhCG値の変化(図2)が、D&Cで一時的にhCGが低下したが、その後、再度着床して、一時的にhCG値が上昇したことを示唆していると思われる。



(図2) hCG値の変化：  
縦軸：IU/L、1～7：H. 17. 12. 17からH 18. 2. 1まで  
(1：H 17. 12. 17 第2回目のD&C手術、6：開腹して胎嚢摘出術、横軸1目盛りが1週間)

それでは、大学病院での18年間の子宮外妊娠166例の内訳を述べる。

まず、子宮外(異所性)妊娠の部位であるが(表1)

(表1)

右卵管膨大部妊娠	左卵管膨大部妊娠	右卵管峡部妊娠	左卵管峡部妊娠	右卵巢妊娠	左卵巢妊娠	頸管妊娠	右卵管間質部妊娠	左卵管間質部妊娠	子宮筋層内妊娠	その他(不明・不詳)	総計
71例	46例	16例	10例	3例	4例	6例	2例	3例	3例	2例	166例
(117例)		(26例)		(7例)			(5例)				
70.5%		15.7%		4.2%		3.6%	3.0%		1.8%		100.0%

表1のように、卵管膨大部妊娠が70.5%、卵管峡部妊娠が15.7%、卵巢妊娠が4.2%、頸管妊娠が3.6%、卵管間質部妊娠が3%、子宮筋層内妊娠が1.8%、その他であった。

また、経産か未産かについては(表2)、166例中、

(表2)

「妊娠回数」		「分娩回数」	
未妊娠 (G-0)	49例 (29.5%)	未産 (P-0)	81例 (48.8%)
1～3回妊娠 (G-1～3)	84例 (50.6%)	1～3回分娩 (P-1～3)	83例 (50%)
4回以上妊娠 (G>4)	33例 (19.9%)	4回以上分娩 (P>4)	2例 (1.2%)

表2のようであった。未妊娠例は30%弱であるが、未経産婦の割合は50%弱とそれより高い。今回の3例中2例は挙児希望症例であるのでG-1、P-0であるが、40歳の症例は帝王切開での経産婦であった。それから、着床部位で卵管膨大部と峡部で右側が左側より例数が多い原因は不明である。Dow EK等の文献<sup>3)</sup>では404例の卵管妊娠で左右差はなかったとあり、ガーナのような低開発国と日本のような文明国の違いであろうか。また第二例のように子宮筋腫核出術後に子宮筋層内妊娠を来したと言う報告は非常に稀なようである。それに比べると、帝王切開後に、瘢痕部から子宮筋層内妊娠したという報告はいくつか存在する<sup>3)～6)</sup>。Michael A.<sup>5)</sup>によれば過去10年の文献のReviewで1800から2216妊娠に一回は帝王切開瘢痕部妊娠がある。Lee GS<sup>6)</sup>の文献のように妊娠初期に子宮筋層内妊娠の診断がつけば後の方針が早く立ち、経過も良いのは当然であろう。

- 文献—
- 1) Jin H et al. Intramural pregnancy: a report of 2 cases. J Reprod Med. 2004; 49 (7):569-72
  - 2) 村上 信子, 杉原 耕一郎, 小山 力, 柏村 正道 帝王切開瘢痕部に着床した子宮峡部妊娠の一例 第52回日本産科婦人科学会九州連合地方部会発表, 1998. 11
  - 3) Dow EK et al. Tubal pregnancy: a review of 404 cases, Ghana Med J. 1975; 14(3):232-7.
  - 4) Ran Neiger et al. Intramural Pregnancy in a Cesarean Section Scar: A Case Report J Reprod Med 1998; 43:999
  - 5) Michael A et al. Cesarean scar ectopic pregnancies Obstet. Gynecol. 2001; 97:826-827
  - 6) Lee GS et al. Diagnosis of early intramural ectopic pregnancy J Clin Ultrasound. 2005; 33(4):190-2

## 第3回社会保険大牟田天領病院 開放型病床運営委員会総会開催さる

社会保険大牟田天領病院では、さる平成18年10月13日(金)に第3回社会保険大牟田天領病院開放型病床運営委員会総会を開催致しました。

当院では、地域に根ざした医療を展開し、地域の医療機関との更なる連携を図るべく、平成15年11月に開放型病院の施設基準を取得しました。開業医の登録にあたっては大牟田医師会及び荒尾市医師会の協力を得て、現在130名の開業医師の先生方に登録医になっていただいております。

10月13日の総会当日は登録医27名、当院職員46名の出席を数えました。荒木病院長の挨拶に始まり、西村大牟田医師会長、高橋荒尾市医師会長、林田大牟田医師会理事挨拶、開放型病床利用状況及び紹介患者等の報告、診療報告2題の報告が行われました。引き続き行われた懇親会では、当院の診療科と医師が紹介され、登録医の先生方と職員の間で和やかに歓談が行われ、盛会の中に総会は終了致しました。

### 【診療報告】

- ①「今後の産婦人科オープンシステムの可能性について」

報告者 吉田 耕治 (婦人科部長)

- ②「当院における脳神経外科治療」

報告者 友清 誠 (脳神経外科医長)



荒木淑郎病院長挨拶



西村直 大牟田医師会長挨拶



診療報告(友清脳神経外科医長)

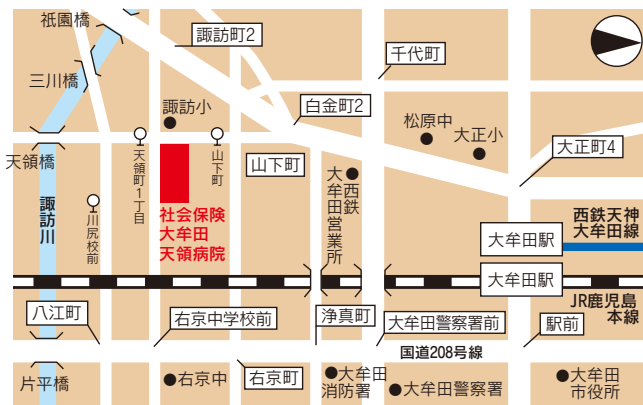
### 外来診療医師担当表

平成18年11月1日現在

診療科		【月】	【火】	【水】	【木】	【金】	【土】			
受付1	腎臓内科 (午前のみ)	今西		今西	今西		(大学)			
	代謝内科 (午前のみ)		西山	西山・(松久)	西山	西山				
	血液・膠原病内科 (午前のみ)			(星乃)	(松野)	(河北)				
	高血圧内分泌内科 (午前のみ)	梅田			梅田	梅田				
	一般内科 (午前のみ)	担当医 (久保田)	担当医	担当医	担当医 (久保田)	(田中由)	担当医			
	神経内科		荒木 佐藤達	荒木 高松	佐藤達	(阪本)	佐藤達	高松		
		午後外来			[予約のみ]	[予約のみ]				
精神科				(矢田部) [予約のみ]		(矢田部) [予約のみ]				
呼吸器科		知花	安道	岩越	担当医	岩越	担当医			
	午後外来	[予約のみ]	[予約のみ]	[予約のみ]	[予約のみ]	[予約のみ]				
受付2	消化器科 (午前のみ)	柴田雄	柴田雄	甲斐	柴田宗 井上	田中	第1・3 柴田雄	第2・4 甲斐	第5 柴田雄	
	外科 (午前のみ)	甲斐	柴田宗	柴田雄	甲斐	柴田雄	第1・3 柴田宗	第2・4 田中	第5 柴田宗	
	整形外科 (午前のみ)	久保田 安岡	枝光 安岡	担当医	久保田 枝光 安岡	久保田 枝光	第1・3 久保田 枝光	第2・4 久保田 安岡	第5 担当医 担当医	
受付3	眼科 (午後)	佐藤修 [予約検査]	佐藤修 [手術]	佐藤修	佐藤修 [手術]	佐藤修 [予約検査]	佐藤修			
	耳鼻咽喉科 (午前のみ)			(大学)			(大学)			
	皮膚科 (午後外来)	池田	池田	池田	[手術] (大学)	池田	池田			
受付4	婦人科 (午後外来)	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田			
	小児科 (午後外来)	生田	生田	生田	生田 (大学)	生田	生田			
受付5	リハビリテーション科	渡邊・山崎	山崎	渡邊		山崎(月1回古閑)	鶴川			
	循環器科	松山	宮崎勇 大庭	松山 石坂	松山 宮崎勇	石坂 大庭	石坂 宮崎勇 大庭 ※2名が交代で担当			
		専門外来 (午後)		松山(心臓病)			ペースメーカー外来 第2・4金曜			
	血管外科 (午前のみ)	古賀				古賀				
	脳神経外科 (午前のみ)	友清	中島	友清	友清	友清	友清			
泌尿器科 (午前のみ)	足立	足立	足立	足立	足立	(大学)				

### 交通アクセス

JR鹿児島本線大牟田駅下車 …… 徒歩20分  
 西鉄天神大牟田線大牟田駅下車 …… 徒歩20分  
 西鉄バス大牟田駅前バス停乗車  
 川尻校前下車 (行先番号2番) …… 下車徒歩3分  
 天領町1丁目下車 (行先番号4番) …… 下車徒歩0分  
 九州自動車道南関ICより自動車にて …… 25分



### ◆診療受付時間

月曜～金曜日	午前8:30～午前11:30 (診療開始 8:45～) 午後1:00～午後4:30 (診療開始 14:00～)
土曜日	午前8:30～午前11:00 (診療開始 8:45～)

### ◆休診日

日曜日、祝祭日、年末年始 (12/30～1/3)

### ◆面会時間

平日・土曜日	午後2時から午後8時まで
日曜日・祝祭日	午前10時から午後8時まで

当院に対してご希望やご意見がございましたら、職員にお気軽にお申し付け下さい。また、ご意見箱も是非ご利用下さい。

財団法人福岡県社会保険医療協会  
**社会保険 大牟田天領病院**  
 電子メール somu@omutatenryo-hp.jp

〒836-8566 福岡県大牟田市天領町1丁目100番地  
 TEL 0944-54-8482 FAX 0944-52-2351  
 ホームページ <http://omutatenryo-hp.jp/>